

4  
R. 11.28

# みんなでチャレンジ！公民館等職員実践研修 (兼) 社会教育活動実践発表研修会

～事業を通した人づくり～



全4回シリーズ

## 実践発表交流会～紹介します！私の実践～

### 【研修のねらい】

- 「自分の地域のために自分たちで行動しよう」という思いの  
人を増やしていく  
⇒ 地域住民の主体性を高める ⇒ 人づくり
- 企画・立案力、プレゼン力、コミュニケーション力をさらに  
高める

### 【どんな人の主体性を高めるのか？】

- 事業の連携先や地域住民 = 協力者

### 【どうやって育てる？】

- 事業に中で、意図的なかかわりを行う

### 【意図的に取り組んだことは？】

- 地域住民をどう事業に巻き込むか
- 地域住民にどう楽しんでもらい、どのように  
学んでもらうことで、主体性を高めていくか

### 【説明】「プレゼンテーションのポイント」

事業づくりの種	協力者	取組で工夫したこと	変容	参考にしたいこと・良いなと思ったこと
発表のここに注目！ その1 巻き込み方 その2 主体性の高め方 その3 協力者の変容				
<b>おしゃべりハンドメイド第二弾 リメイクde癒しの匂い袋</b> (浜田市)				
新たな縁づくり（他の地区的住民同士が会える機会を作る） 主体的に動いてくれそうな住民の発掘（事業参加者が協力者になる） 地域住民Mさん、協力者の友人 ・事業のネーミングを考える ・役割を分担する・まちゼンの役割について共有 ・協力者自身から参加者へ呼びかけを促す		地域の伝統行事「大元神楽」について知る 神事に用いられる「切り紙」体験をとおし伝統の継承に繋げる 宮司さん、サタデースクールスタッフ ・宮司さんへこちらの想いを伝える ・資料集め、資料作りと一緒にする ・サタデースクールスタッフに事業内容を提案・ 注意する点について相談する	今後の広がり ・宮司さん、大元神楽伝承館、地元神楽社中などと連携して、地域ぐるみで伝統を受け継ぐ取組を模索中 ・宮司さんの「やってみよう！」をみんなで具現化！ ・子どもたちが楽しみながら、地域の伝統にふれる！ ・伝統文化の良さに気づき、それを地域・次世代に継承していくこうという想いは素晴らしい。	島根県立大学BBSサークルとの関係づくり 「HALLOWEEN PARTY in 木田暮らしの学校」(浜田市) 関係人口を増やし、地域を活性化したい 島根県立大学BBSサークル ・打ち合わせに出席してもらう ・出されたアイデアを企画に盛り込む ・関係性を深めるため一緒に作業をする 地域と大学生の交流が生まれた。 ・大学生とのつながりができる→次年度も一緒に事業を！ ・一緒に準備をする→かかわりが生まれていいですね。 ・「つながりは作るものではなく、育てるもの」ということがよくわかる活動でした。 ・協力者を無理に誘わない→お手伝い扱いしないところ。
気持ちの落ち込み←寄り添う 事業の協力者からまちづくりの プレイヤーへ				
・協力者の気持ちに常に寄り添っていたことが素晴らしい！ ・役割があることは有用感を高めて“次へ”的意欲につながっていくのです。 ・協力者にいつの間にか、まちづくりに関心をもたせているところ。				
<b>匹見っ子と和太鼓演奏 ～たたいてスッキリ！みんなで笑顔～</b> (益田市)				
太鼓を叩いて楽しさを伝える。地域交流・伝統文化の継承 和太鼓演奏者、和太鼓グループ ・和太鼓グループの保護者の方と和太鼓演奏者の 思いを共有 ・子どもたちが楽しく教える方法を和太鼓演奏者と考える ・和太鼓グループのリーダーに手本や声かけなどを任せ 和太鼓演奏者に演奏活動とは違う、 地域活動の喜びが芽生える		次世代の担い手の裾野を広げ、まちづくり活動への関心と参加の きっかけづくり 中学生 ・「子どもまちづくり委員会」で話し合われた ことを、まちづくりセンターで掲示した ・アイデアが出やすい雰囲気づくりを ・参加者も中学生も楽しめるようなイベントを考えた	地区まちづくり委員会に主体性が芽生え、「地区まちづくり団体」 が、誰でも参加できる開かれた組織へと変化した ・中学生の姿を見て、小学生以下の子どもが憧れをもつと思った。 ・子どもたちの主体性を尊重しつつ、上手く伴走されていたこと。 ・子どもまちづくり委員会が小さい子どもを楽しませるだけでなく、自分たちも楽しむことを重視したことで継続性にもつながると感じた。	地域づくりの未来を～共に考える～ (浜田市) 古民家に誰もが気軽に立ち寄れる居場所としての活用 古民家活動グループ（地域住民、県大生有志） ・県大生と地域住民と古民家の清掃後、一緒にカレーを食べ交流 ・古民家片付けをゲーム感覚で楽しくする ・活動名を大学生が興味を持てるネーミングで呼びかけた 「手作り風味な秘密基地の建設物語in市木」 ・できる時にできることで関わってもらうスタイル ・地域活動への波及効果・県大サークルが地域で学生食堂を開催！ ・作業にゲームを取り入れるのがおもしろい。いろんな発想が生まれると 楽しみも倍増!! ・無理のないかかわりが大切だなと思いました。これが、持続可能なつな がりにつながっていくのかなと思いました。
・地域人材を生かしながら展開されているところ。 ・協力者（和太鼓演奏者）の思い、願いを「社会教育に」という視点！ ・子どもが自分の力を生かせる場所ができたことは、ふるさと愛の育成につながっていると思いました。				
<b>みんなのえんがわ ふらっと</b> (吉賀町)				
「ふらっと」で、子どもの「やりたい」を引き出し事業化する 株式会社森の環、食改 ・協力者に相談したり、一緒に考えてもらう ・子どもたちができそうなことは任せてみる ・子どもと同じ目線でやってみる		耕作放棄地 高校1年生、地域住民 ・高校生の「やりたい」に寄り添う ・地域住民に相談し、高校生の「やりたい」に関わる きっかけをつくる ・「高校生の田んぼ」→「みんなの田んぼ」へ変更	高校生：事業に対する責任感が芽生えた（自分のやりたいことがわかった） 地 域：集まる回を重ねるごとに協力し合う度がアップ 田んぼを通じて人と出会い、つながりができる ・大人の本気！子どもの心を動かす。すごい！マネしたい。 ・悩み考えそれでもトライし続ける姿勢がすごいです。 ・ピンチをチャンスに！この発想ができるのが公民館ですよね！ ・人が集うとお互いに作用しあう。本当にそうだと思います。	夏の多世代交流 みらい交差点 (美郷町) いろんな世代間の交流 高齢者サロン代表者Tさん ・特に会議！という日は設定せず、会ったときに確認しあう ことで負担軽減 ・事前試作をしたおかげで、参加者だった高齢者が、協力者に変わった ・事業を通して繋がりができ、地域で顔を合わせた際に声をかけ合う 関係になった ・井戸端感覚で交流・共有する工夫はすばらしい！ ・参加者の増やし方や試作という発想は斬新!! ・「次いつやるの？」これを言ってくれる協力者は貴重な人材になりますね。 ・強力な協力者を見つけていて、今後の活動の広がりも期待できそう。
・段取り重要ですよね。やってみることが大切だし、それで改善していく、いいですね。 ・公民館のかかわり方がgoodです。（出すぎず、離れず） ・子どもたちの意見をしっかり出す場、一緒に悩む時間があるから、子どもたちも安心して過ごせる場になっているんだと思いました。				
<b>茶話交流会</b> 話そう！わたしの実践 あなたの実践！ ケーキと飲み物で 和やかに話がはずみます			発表の様子	修了証書授与
				東西の研修受講生のみなさんと一緒に

### 受講者アンケートより

- 人づくりの視点、同じ志をもつ仲間に出会えて、さらにやる気ができました。
- 何気なしに参加した研修でしたが、思ったよりたいへんな研修でした。しかし、事業に取り組むうち、いろいろな人とのつながりが生まれ、自分にとっても充実した研修になりました。
- 他の方の発表を聞いて、自分自身の実践への発見や課題点が見つかりました。また、普段関わることのない人とも交流ができ、さらに、やる気が出てきました。事業の継続や発展に向けて人づくりの輪を広げていきたいです。

### 研修参加者アンケートより

- 皆さんのが熱い思いを持って、地域とかかわっていると感じました。私もそうでありたいと、ワクワクして話を聞かせていただきました。
- みんチャレ！が事業構築の整理に大きな役割を果たしていることが、実践発表から伝わってきました。
- どの発表も地域の実態からうかぶ課題等について事業を企画しているが、協力者をうまく巻き込みながら、良い関係をつくりながら事業をすすめていることが、研修のねらいにそついたと思います。